

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市議員

発行：2023年8月27日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



市民負担増
ラッシュの中

2022
年度決算

京都市収支 黒字77億円



物価高騰と異常な酷暑から 市民を守る緊急申し入れ！

日本共産党市議員団は、8月10日に京都市に対して、緊急の申し入れをしました。7月の総務省発表でも22か月連続して全国消費者物価指数は前年同月を上回っていて、市民の暮らしは厳しさを増しています。加えて、生命を危険にさらすほどの異常な酷暑の下、電気代を心配し、冷房も節約して熱中症などで亡くなれる事案が全国で起こっています。京都市でも、7月の熱中症（疑い含む）による救急搬送は480人、7月半ば以降3週連続して100人を超えています。また、特にひとり親家庭では「1食の食事代が110円」

以下の家庭が4割という調査結果もあります。家計のやりくりは限界に達しており、水道料等を減免する自治体も増えている現状ですから、京都市においても市民の生命を守る緊急の対策が必要です。以下の申し入れをしました。

- ▶ 熱中症から生命を守るため、電気代への支援を緊急に行うこと。
- ▶ 水道料金・下水道使用料を減免すること。
- ▶ 非課税世帯をはじめ生活困窮世帯への生活支援給付金を市独自で緊急に実施すること。
- ▶ 学校夏季休業中においても、就学援助世帯への給食費相当分を給付すること。
- ▶ エアコンが設置されていない、もしくはエアコンが故障している生活保護利用世帯について、エアコン設置・修理等の費用を助成すること。
- ▶ 政府に対し、以下について緊急に要望すること。
 - ① 電気代など光熱費について国民への負担軽減の対策を講じること。
 - ② 生活保護世帯に対する物価上昇分の上乗せ給付など直接の生活者支援を行うこと。

「憲法を守って幸福度を上げよう」9条の会・醍醐17周年記念



9条の会・醍醐は立ち上げてから17年を迎えました。記念講演として福山人弁護士にお話をいただきました。「日本の幸福度ランキングはG7で最下位の47位」「ジェンダーギャップ指数はG7で最下位の125位」「国民一人当たりのGDPは30位」など、北欧の諸国となぜこんなに差があるのか。暮らしにくい原因はどこにあるのかを分かりやすく説明されました。京都府内で、2020年に街の住み心地ランキング1位になった大山崎町がありますが、そこでは、「コロナ時には14か月上下水道料金無料」「町独自で教員を配置して中学校で35人学級を実現」「いい部屋ネット2021関西版の街の幸福度ランキン

グ1位、全国4位。出生率は1.849で京都府平均1.2を大きく上回る驚異的数字」ということです。京都市との違いがはっきりしました。また、岸田内閣が軍事費を5年で43兆円にしていますが、戦争に向かうだけ。その予算を国民に使えば様々な施策ができると報告されました。



8月19日にUR桃山南団地の「友の会」主催、UR桃山南団地自治会協賛の盆踊り大会が4年ぶりに開催されました。これまでも多くの住民の方々が参加されて、楽しい盆踊り大会でしたが、今年は例年以上に多くの方々、特に多くの子どもの参加が目立ちました。盆踊りも積極的に参加する方が多く、馬場府議、西野市議も踊りに参加しました。太鼓サークル「渦」の皆さんの演技と子どもたちに太鼓を体験するコーナーがあり、大盛況でした。地域コミュニティの活性化に大事な取り組みです。



桃山南学区の盆踊り
大会に参加しました